

『学科専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉〈教育課程の編成・実施方針〉〈進学生・編入学生の受け入れ方針〉

1. 心理学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学は、人間の心理や行動をめぐる様々ななぞについて、科学的に理解することを目指す学問であり、人間を援助することにつながる実践的な学問でもあります。心理学および関連領域の幅広い知識と分析的かつ柔軟な思考力を身につけ、多様化と情報化の進む社会のなかで、主体的に自らの能力を發揮できる卒業生を社会に送り出します。さらに、心理学の専門的な知識をいかす職業に就くことを希望する学生のためには、そのような知識や技能を身につけることも目標としています。

具体的には、次のような能力と資質を身につけて卒業させています。

1. 人間の心の働きやその仕組み、胎児から高齢者までの生涯発達の知識、こころの問題と支援方法に関する基礎的な知識など、幅広い心理学の知識と専門的知識、さらに物事を分析する技能。
2. それぞれの問題意識を実証的に解明しようとする態度・思考力・表現力。客観的科学的な方法で心理学研究をおこなおうとする態度。
3. 主体的に、かつ、他者と協働して物事を行えるコミュニケーション能力。他人の意見に耳を傾ける謙虚な態度。
4. 心理学の知識をいかす職業に就くための基礎的な能力および資質。

『学科専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉〈教育課程の編成・実施方針〉〈進学生・編入学生の受け入れ方針〉

2. 心理学科の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）（2022年度以前入学者用）

心理学の幅広い基本的な知見を学ぶとともに、認知、発達、臨床の各領域についての心理学の専門的な知見を身につけるために、さらに、心理学の専門的な知識をいかす職業に就くことを希望する学生のためには、そのような知識や技能を身につけるためのカリキュラムも用意しています。同時に、実証的な研究手法を学びながら、各自の関心のある専門性を深めることのできるカリキュラムを編成しています。

- ・2年次においては、心理学概論で認知、発達、臨床の3領域の基本的な知見を習得するとともに、実験演習や統計法の授業で実証的な研究の手法を身につけます。心理学実験演習では、クラスの全員が実験を行う実験者と実験を受ける実験参加者の両方を体験します。この授業では、学年を3クラスに分けて、教員の指導のもと、本学科を卒業した院生たちがインストラクターとして入り、きめの細かい指導が行われます。また、心理検査の目的や技法を学ぶ授業もあり、自分自身を知る手がかりになりますし、人間にはいろいろな特徴があり、個人個人の特徴はそれぞれ異なることを知ることにもなります。
- ・3年次以降においては、各自が関心のある領域の教員のゼミナールに入り、その領域を核として、他の領域の科目や様々な関連科目を選択しながら、心理学の専門性を深めていきます。
- ・4年次においては、ゼミナールの教員の指導のもとで、各自の問題意識のもとに仮説を立て、実験や調査、観察によってデータを集め、その結果に基づいて卒業論文を作成します。自ら計画・実施し、今まで学んできた知識や手法を生かすことができます。

『学科専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉〈教育課程の編成・実施方針〉〈進学生・編入学生の受け入れ方針〉

2. 心理学の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）（2023年度以降入学者用）

心理学の幅広い基本的な知見を学ぶとともに、認知、発達、臨床の各領域についての心理学の専門的な知見を身につけるために、さらに、心理学の専門的な知識をいかす職業に就くことを希望する学生のためには、そのような知識や技能を身につけるためのカリキュラムも用意しています。同時に、実証的な研究手法を学びながら、各自の関心のある専門性を深めることのできるカリキュラムを編成しています。

- ・2年次においては、心理学概論で認知、発達、臨床の3領域の基本的な知見を習得するとともに、心理学実験や心理学統計法の授業で実証的な研究の手法を身につけます。心理学実験では、クラスの全員が実験を行う実験者と実験を受ける実験参加者の両方を体験します。この授業では、学年を3クラスに分けて、教員の指導のもと、本学科を卒業した院生たちがインストラクターとして入り、きめの細かい指導が行われます。

また、心理的アセスメントの目的や技法を学ぶ授業もあり、自分自身を知る手がかりになりますし、人間にはいろいろな特徴があり、個人個人の特徴はそれぞれ異なることを知ることもなります。

- ・3年次以降においては、各自が関心のある領域の教員のゼミナールに入り、その領域を核として、他の領域の科目や様々な関連科目を選択しながら、心理学の専門性を深めていきます。

- ・4年次においては、ゼミナールの教員の指導のもとで、各自の問題意識のもとに仮説を立て、実験や調査、観察によってデータを集め、その結果に基づいて卒業論文を作成します。自ら計画・実施し、今まで学んできた知識や手法を生かすことができます。

『学科専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉〈教育課程の編成・実施方針〉〈進学生・編入学生の受け入れ方針〉

3. 心理学科の進学生・編入学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

心理学科では、人間の心の働きやその仕組みに興味をもつ人、また、人間の一生涯の発達に関心をもつ人、さらには、こころの問題と支援方法などに興味関心をもつ人など、広く人間のこころの問題に疑問や関心をもつ人に進学してもらいたいと考えています。

さらに、心理学の特色である実証的な研究手法にも関心をもち、主体的に認知、発達、臨床の基礎的知識を学び、それをもとに各自の関心のある専門性を深めたいという学生を受け入れます。

本学科に進学または編入学を希望する学生には、以下のような力、そして態度や姿勢が身についていることが望まれます。

1. 自らの問題意識に基づく粘り強い探求心をもっていること。
2. 主体的に学ぶ意欲と発信力。
3. 他者と協働するのに必要なコミュニケーション能力。
4. 自分と異なる意見にも耳を傾け、自分の考え方や行動を振り返ることができる謙虚な態度や姿勢。